

木更津工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	廃棄物管理	
科目基礎情報							
科目番号	0092			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	環境都市工学科			対象学年	4		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	プリントを配付						
担当教員	上村 繁樹						
到達目標							
・日本の廃棄物の現状についての概略を説明できる ・廃棄物の処理処分についての概略を説明できる ・廃棄物関係の法律についての概略を説明できる ・リサイクルとゼロエミッションの概略について説明できる							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	全体像を理解し、応用的な問題に対処できる			全体像を理解している		理解していない	
評価項目2	全体像を理解し、応用的な問題に対処できる			全体像を理解している		理解していない	
評価項目3	全体像を理解し、応用的な問題に対処できる			全体像を理解している		理解していない	
評価項目4	全体像を理解し、応用的な問題に対処できる			全体像を理解している		理解していない	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	廃棄物管理に関する全体像を理解し、応用的な問題に対処できる。本科目は企業で環境保全プラント関係の研究・開発、設計等の業務を担当していた教員が、その経験を活かし、廃棄物問題やその処分・リサイクル方法について講義形式で授業を行うものである。						
授業の進め方・方法	講義方式、主にパワーポイントを使用する。						
注意点	廃棄物問題は、現在刻々と変化している部分がある。そのため、新聞・ニュース等をよく注意し、関連する記事などを把握しておくことが肝要である						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス		学習内容の全体像を理解		
		2週	廃棄物の分類・処理・処分までの現状 1		廃棄物発生から処理までの現状		
		3週	廃棄物の分類・処理・処分までの現状 2		廃棄物発生から処理までの現状		
		4週	廃棄物の分類・処理・処分までの現状 3		廃棄物発生から処理までの現状		
		5週	日本の廃棄物関連法規の概要と廃棄物行政の現状 1		有害物質の処理		
		6週	日本の廃棄物関連法規の概要と廃棄物行政の現状 2		ごみの焼却とごみ発電		
		7週	日本の廃棄物関連法規の概要と廃棄物行政の現状 3		循環型社会の形成-循環型社会形成推進基本法		
		8週	日本の廃棄物関連法規の概要と廃棄物行政の現状 4		・ 循環型社会の形成-循環型社会形成推進基本法 循環型社会の形成-廃棄物処理法		
	2ndQ	9週	日本の廃棄物関連法規の概要と廃棄物行政の現状 5		循環型社会の形成-容リ法		
		10週	日本の廃棄物関連法規の概要と廃棄物行政の現状 6		循環型社会の形成-家電リサイクル法		
		11週	日本の廃棄物関連法規の概要と廃棄物行政の現状 7		循環型社会の形成-食品リサイクル法		
		12週	日本の廃棄物関連法規の概要と廃棄物行政の現状 8		循環型社会の形成-建設・自動車リサイクル法		
		13週	リサイクルとゼロエミッション 1		循環型社会の形成-グリーン購入法		
		14週	リサイクルとゼロエミッション 2		バイオマス		
		15週	リサイクルとゼロエミッション 3		産業クラスター, LCAの概念		
		16週	リサイクルとゼロエミッション 4		環境経営		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	20	0	100
基礎的能力	60	0	0	0	20	0	80
専門的能力	10	0	0	0	0	0	10
分野横断的能力	10	0	0	0	0	0	10